

元気確認ウォーキング⑪大磯の運動公園&城山公園へ

日時：2021年6月7日（月） 天候：曇 歩数：2万3000歩 13.5km

集合：高来神社 9時30分

コース：高来神社→石の布袋様→大磯駅北側→白岩（しろいわ）神社→曾我兄弟五郎の力石→大磯運動公園→大磯城山（じょうやま）公園→大磯駅南側→高来神社

参加者：高橋 小野里 新谷 河野（L） 野村 福士 市村 7名

6月7日、平塚元気確認ウォーキング⑪「大磯の運動公園&城山公園へ」を行いました。集合場所は高麗山麓の高来神社。自転車集合組は5人（高橋、新谷、河野、福士、市村）、徒歩集合組は2人（小野里、野村）。

今年の梅雨入りは大分早いようです。気象庁は5月15日、九州北部と中国、四国地方が梅雨入りしたとみられると発表、四国は平年より21日早い梅雨入り。東海地方も5月16日に梅雨入り、平年より21日早く5月中旬までに梅雨入りするのは58年ぶり。ところが関東甲信越は梅雨入り宣言がされていません。そんな中の元気確認ウォーキング、心配していた雨はなんとか回避できました。コロナ禍で中止した1月と2月を除き、今年の6月から11ヵ月連続の雨なし開催となりました。

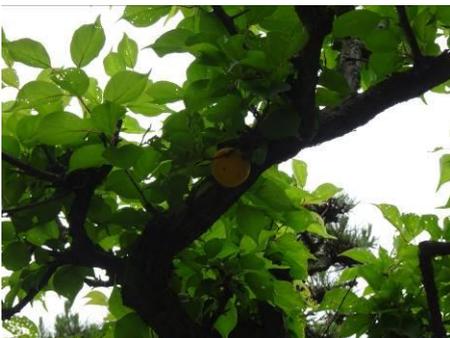
リーダーは河野さん、コースは高来神社からひたすら西へ、湘南平南側麓の丘陵地帯、閑静な住宅街、田園地帯、そして大磯のふたつの公園めぐりと変化にとんだ少しハードな2万3000歩、13.5kmのウォーキングでした。

写真は、コース最西端の大磯城山公園で、円卓テーブルを囲み次回のコース打ち合わせ中の1枚です。新谷さん、みなさんに背を向けていますが話は聞こえているようです。



高来神社 ストレッチ&コース説明 9時35分～西へ～石の布袋様

境内で入念ストレッチ、この日のリーダー河野さんがコース説明。9時35分に高来神社をスタート。ぽつりぽつりと雨が肌を濡らし、大分蒸し暑く感じます。鳥居はくぐらず、参道途中を右に曲り住宅街を西へ進みます。だんだんと上り道、住宅もまばらになります。いつの間にか雨は止んでいました。民家の庭先に黄色いあんずの実がなっていました。さらに進むと民家はなくなり山道に入りました。道から少し入ったところに大きな布袋様が見えます。眺めている福士さんが随分と小さく見えます。「だれが造ったのだろう」「昔からあったようだよ」「コンクリートでできているのかしら」など、しばし布袋様談議。



布袋様～急峻な下り～祠～大磯駅北側～小径～10時47分白岩神社

急峻な下りです。河野さんが「滑るところがあるのでストックがある人はもってきてください」とアナウンスしていましたが、ここの下りだと思いました。下る途中のところに祠があり仏さんが祀られていました。下りきったところで水分補給。大磯駅の北側に出て線路沿いを下って行きます。小川沿いの小道に入るとうぐいすの鳴き声が聞こえてきました。小道を抜けると住宅街が広がり、庭先の色とりどりのアジサイなどが目を楽しませてくれました。10時47分に鳥居をくぐり、白岩神社到着です。石段の参道を上がったところが本殿、小野里さんが、代表して「安全ウォーキング」祈願をしました。



白岩神社～田園地帯 野菜直売所～豊水尚土石碑 曾我兄弟五郎の力石

境内は大木に囲まれていました。何人かは石段を上がり下で待機。神社を出て住宅街を歩いて行くと民家の庭先に白い綺麗な花、どなたかが「シャクソクショウかしら」と話していましたが。田園地帯に出るとトウモロコシ畑や青物野菜畑が広がっています。野菜直売所があり、梅が販売されていました。この辺りはエサが豊富なのか電線に鳥が連なり、賑やかな鳴き声がしています。幹線道路沿いに「豊水尚土」という石碑がありました。ここ西小磯地域の土地改良工事の記念碑のようです。その横に「曾我物語」や「曾我兄弟の仇討ち」ゆかりの曾我兄弟五郎の力石、これはとても持てないでしょう。



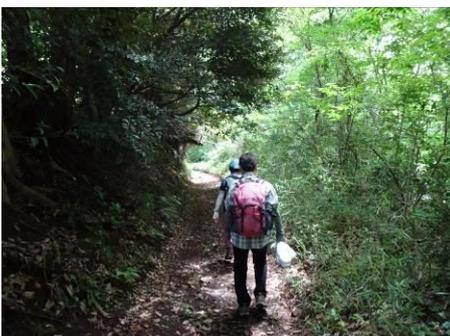
曾我兄弟五郎の力石～丘陵地帯へ～大磯運動公園～あじさいの花

大磯運動公園に向かうため丘陵地帯に入ります。若い男性が花栽培をしていました。脱サラをしたのでしょいかしばし花談議、「これから空いている土地に花栽培を拡大していく、イノシシも出るよ」と明るい声で話してくれました。さらに上って行くと、青年が花栽培に取り組んでいる畑越し、東の方向に湘南平のテレビ塔が見えます。尾根道を折れて下りていくと大磯運動公園のグラウンドが広がっていました。公園は歩道も花も手入れが行き届いていて、ピンクや青いあじさいの花が咲き誇っていました。階段を少し上がった展望の良いところへ、相模湾が一望できました。集合写真を1枚パチリ。



大磯運動公園 昼食タイム 12時20分～尾根道のミステリアスゾーン

大磯運動公園の施設管理事務所近くまで下りてきました。時刻は11時40分、野球場脇の木陰の風の良く通るベンチで昼食タイムです。管理事務所のどこかに巣があるのかツバメを見かけましたのでズームで撮りました。すっかりゆったりして12時20分、午後のスタートです。再び丘陵地帯に入り上り道、尾根道へ出てしばらく進むと先頭組がなにやら覗き込んでいます。直径70～80cmの甕がふたつならんでいて水を湛えた中に金魚が10数匹泳いでいました。「なぜここに甕があるの」「誰かが放流したのよね」「エサはあるのかしら」「甕は繋がっていないから行き来はできないよね」などなど、ミステリアスゾーンでした。



尾根道歩き～ホタルブクロ～ディゴの花～13時丁度大磯城山公園

しばしコロナ禍のことなど忘れて長閑な雰囲気尾根道歩きです。淡い紫色のホタルブクロを何ヵ所かで見ることができました。尾根道から下りて住宅街へ、民家の竹垣越しに赤色の鮮やかなディゴの花が咲いていました。田園地帯を歩き、JR東海道線のガード下を通り、この日初めて東海道線よりも南側エリアへ入りました。西へ進み13時丁度、大磯城山公園に到着です。



大磯城山公園 散策路をぐるりと廻って展望台へ 関東の富士見百選

大磯城山公園は神奈川県立の都市公園で、国道1号を挟んで旧三井財閥の別荘跡地区と旧吉田茂邸地区で構成されています。東門から入っていくと博物館があり、入口に赤いポストが設置されていました。石段を上がり、散策路をぐるりと廻って展望台へ着きました。富士山の展望が良いところですが、この日はかろうじて白い頂が見えました。「関東の富士見百選の名盤」があります、午前中ならばもう少しはっきりと見えると思います。次回の打ち合わせ、「7月は、河野さんリーダーでKWC湘南平ハイキングを行うのでそれに参加しよう。8月はお休みで9月実施」を確認。6人横並びの集合写真を撮りました。



さぁー帰路です 一路東へ～大磯駅～旧東海道松並木～15時高来神社

13時40分、さぁー帰路です。一路東へひたすら歩きます。住宅街、タチアオイの咲く田園地帯、東海道線の線路脇を進み14時23分、大磯駅に到着です。駅前の地元産の野菜などを販売している「ほっこり」でお買い物タイム。私は「あく抜きなしで料理できるよ」の説明書きが付いていた真竹を購入、酒の肴にイネ。ソフトクリームを楽しむ人もいて小休憩。再びスタート、旧東海道の松並木を歩きます。野村さんが右手に持っているポリ袋は1山300円のトマト。コースタイム予定通りの15時丁度に高来神社に戻りました。境内でクールダウン。「2万3千歩か、今日も良く歩いたな～」「仲間と一緒にウォーキングは楽しいよ」の思いを強くしながら自転車の人となりました。



そうそう平塚市もとうとう、6月1日から20日まで「まん延防止等重点措置」の対象になり、飲食店へは午後8時までの時短営業と酒類の終日停止の自粛要請がされました。居酒屋さんの悲鳴が聞こえてきます。新型コロナウイルスの早期収束で、楽しいウォーキング&アフターを！ (いちむら記)